

# DNT断熱テクト

1.一般名 遮熱用常温架橋形水系微弾性下地調整材

2.規格表示等

2-1.規格表示 社内規格

2-2.ホルムアルデヒド放散等級分類記号 —

3.特長

- 1)水系で環境に優しい。
- 2)熱伝導率が低く、熱抵抗を高める材料として有効である。
- 3)耐候性に優れる。

## 4.塗料性状<sup>※1</sup>

項目	内容			
容姿	1液性			
荷姿	12kg			
色相	白			
光沢 <sup>※2</sup>	—			
密度 (23°C)	塗料	0.97±0.02(白)		
	揮発分	1.00		
粘度(23°C)	22,000mPa·s(BH型粘度計)			
加熱残分	60%			
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	4時間	20分	15分
	半硬化	17時間	40分	30分
標準膜厚	100μm/回 ※最低膜厚			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限～上限)	SDS参照			

※1上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

## 5.塗装基準

項目	内容			
下地処理	素材表面の油分、汚れ、埃等を除去し乾燥した清浄な面とする。 pH10以下、含水率10%以下			
調合法	—			
熟成時間	—			
可使時間	—			
塗装方法	刷毛、多孔質ローラー、リシガン			
希釈剤	水道水			
塗 装 法	塗装方法	多孔質ローラー	リシガン	
	希釈率	0～6%	0～6%	
	標準使用量	0.5～1.0kg/m <sup>2</sup> /回	0.5～1.0kg/m <sup>2</sup> /回	
	標準膜厚	100μm/回 ※最低膜厚		
	ウエット管理膜厚	—		
塗 装 間 隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小	24時間	16時間	12時間
	最大	7日間	7日間	7日間

注)標準使用量は実測値に基づき算出しています。  
また被塗物の形状などにより標準使用量は変動いたします。

## 6.施工上の注意

- 1)十分攪拌し均一な塗料状態にしてから塗装する。
- 2)希釈は必ず指定された希釈剤を使用する。
- 3)塗装後の湿度、水分の影響  
塗装後、最低2時間位の間は雨や水がかからないようにする。
- 4)希釈後には、顔料が浮きやすくなりますので、ご注意ください。

## 8.使用上の注意[警告]

使用上の注意の詳細は容器ラベルに表示

## 7.関連法規則

危険物表示	—
有機溶剤区分	—
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	—